

15. 医学教育サイバーシンポジウム特別委員会^{*1}

錦織 宏^{*2}（委員長・名古屋大学総合医学教育センター）

2020年2月ごろよりわが国を襲った新型コロナウイルス感染症の影響によって、第52回日本医学教育学会大会が誌上開催となったこともあり、有志学会員数名が中心となって、オンライン教育に関するリアルタイムの情報交換や討議を目的とした医学教育サイバーシンポジウム（以下、サイバーシンポジウム）を企画することになった。そして、このサイバーシンポジウムを学会の公式な企画として認可していただくことになり、同時に、本特別委員会が設置された。この医学教育サイバーシンポジウムの実施および本委員会の設置への動きが、「新型コロナウイルス感染症が拡大する今こそ、オンライン教育に関して日本医学教育学会がリーダーシップをとっていく必要がある」という志をもった数名の学会員のSNSを通じたやりとりによって、わずか1日足らずで進められたことも特筆すべきことであろう。

2020年5月30日に行った第1回では、臨床実習をテーマとして取り上げ、同年6月13日には試験について、6月27日は卒後研修につ

いて、約200～500名の参加者と共に活発な討議を行った。また、7月11日にWithコロナの時代の医学教育のあり方について一旦総括し、2020年度の活動を終えた。シンポジウムの詳細な記録は医学教育サイバーシンポジウムのWebページ（<https://cybersymposium.jp/>）にあるが、本委員会の活動は、学会誌52巻1号にも委員会報告の形でまとめている。

2021年度は初回のサイバーシンポジウムから1年となる節目の5月29日に、卒前医学教育、卒後研修、そして、オンライン教育の担当者とツールをテーマに、約300名の参加者と共に討議を行った。今後も状況を見ながら、必要に応じて、本サイバーシンポジウムを実施することを検討する予定である。

（本稿初出は、日本医学教育学会誌「医学教育」50巻第5号）

副委員長代行：門川俊明，委員：浅田義和，木村武司，清水郁夫，田中淳一，村岡千種

^{*1} Special Committee for Cyber Symposium in Medical Education

^{*2} Hiroshi Nishigori

16. 臨床実習前医学教育部会^{*1}

西屋 克己^{*2}（部会長・関西医科大学医学教育センター）

1. 臨床実習前医学教育部会について

臨床実習前医学教育部会は第21期より新設された部会であり、第19期「卒前教育委員会」

の流れを汲むものである。この部会の担当領域は、教養（準備）教育、基礎医学教育、臨床実習前における臨床教育、教養・基礎医学実習な